

## 平成30年度事業計画書

【 平成30年度基本行動方針 】	1 ページ
【 総務部・業務計画 】	2 ページ～4 ページ
【 供給部・業務計画 】	5 ページ～6 ページ
【 血漿分画促進部・業務計画 】	7 ページ

## 【 平成30年度基本行動方針 】

公益財団法人としての社会的使命を役員及び全職員が自覚し、定款第3条に掲げる「本事業団は、血液由来製剤等を必要とする患者、医療関係者及び医療機関に対し総合的な血液供給事業を行い、献血血液による血液事業の円滑かつ適正な推進及び発展に寄与することを目的とする。」という理念に基づき、平成30年度の基本行動方針を策定し、各事業を推進する。

1. 血液事業全体は安定期を迎えているが、これまでに増して日本赤十字本社、東京都支部、関東甲信越ブロックセンター及び東京都赤十字血液センターとの連携を強化し、社会の動きと連動した設備・装備等の充実を図るとともに更なる進歩を目指し今後の改革に備える。
2. 医療機関で、血液の適正使用が推進され、使用量の減少傾向がみられることから、供給手数料の減少が懸念される。また、薬価改定が実施され血漿分画製剤からの収益は減少傾向にあるため、正確な情報を集め、状況に応じた柔軟な方策を講じていく。
3. 昨年、導入した供給管理システムは順調に稼動し、誤配といった重大な事例は発生していないが、システム以外の場面においてはヒューマンエラーが発生する可能性はあるので、十分注意を払っていく。また、更に良い方向へ改良を重ね、血液事業学会等の外部へのアピールも図り、赤十字との連携の大きな節目の年にしていきたい。
4. 血漿分画製剤について、平成30年4月に、薬価改定が実施されるが、医療機関への訪問を密に行うことで、取引の継続、新規医療機関の獲得に力を入れる。血液凝固因子製剤は各社から半減期延長型の製剤が続々と発売されているが、国の方針である国内自給の原則と安定供給の確保に基づき、第Ⅷ因子製剤であるクロスエイトMCをはじめとする献血由来血漿分画製剤の供給促進に引き続き努めていく。

## 【 総務部・業務計画 】

### 1. 車両整備及び車両装備計画

- ・平成30年度は緊急車両13台、普通車両5台を代替更新する。

	平成29年度 予定保有台数	平成30年度 廃車予定	平成30年度 配備予定	平成30年度 予定保有台数
緊急車両	56台	13台	13台	56台
普通車両	18台	5台	5台	18台
合計	74台	18台	18台	74台

### 2. 職員の充足及び教育研修計画

#### (1) 職員の充足計画

		平成29年 4月1日	平成29年度 退職予定	平成30年度 採用予定	平成30年度 予算定員
職員数		136名	5名	3名	134名
内 訳	男性職員	114名	4名	2名	112名
	女性職員	17名	0名	0名	17名
	男性嘱託職員	4名	1名	1名	4名
	女性嘱託職員	1名	0名	0名	1名

#### (2) 教育研修計画

- ・各種教育、研修、講習会等を実施し、各職員の資質の向上を図る。特に車両運転に関しては外部研修会等に参加させ、運転技量の向上、安全運転の推進をする。

### 3. 血液製剤の供給業務委託契約等について

#### (1) 輸血用血液

- ・東京都内における輸血用血液の日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センターとの契約は前年度に引き続き、「輸血用血液の供給にかかる業務委託契約」(いわゆる供給手数料)によって実施する。

#### (2) 血漿分画製剤

- ・各メーカーから血漿分画製剤を直接仕入れ、販売を行う。  
各メーカー（一般社団法人日本血液製剤機構(JB)、日本製薬株式会社、  
帝人ファーマ株式会社等)

### 4. 調査研究及び広報普及事業

#### (1) 調査研究

- ・日本血液事業学会、日本輸血・細胞治療学会等に参加し、演題の発表及び報告書の作成を行う。

## (2) 広報普及活動

- ・下記の会合を実施し、関係機関に対する情報提供、適正使用のための啓発、献血思想の普及向上等の活動を行う。

(ア) 医療機関に対する血液事情等に関する情報提供

(イ) 東京都赤十字血液センターと業務運営に関する連絡会議の実施

(ウ) 各種団体、企業への献血協力依頼

(エ) 血液製剤供給業務途上における各種広報普及活動の実施  
(車両用献血広報ステッカー等の作成)

(オ) 献血ルームにおける献血者への協力呼び掛け等の実施

## 5. 防災訓練

- ・東京都、各市区町村主催の防災訓練に参加するとともに、広域需給体制に対応したより実践的な自主防災訓練を実施する。

(ア) 合同防災訓練

① 平成30年度東京都・中央区・港区合同防災訓練に参加予定

② 八王子市総合防災訓練に参加予定

(イ) 事業団独自に行う自主防災訓練の実施

## 【 供給部・業務計画 】

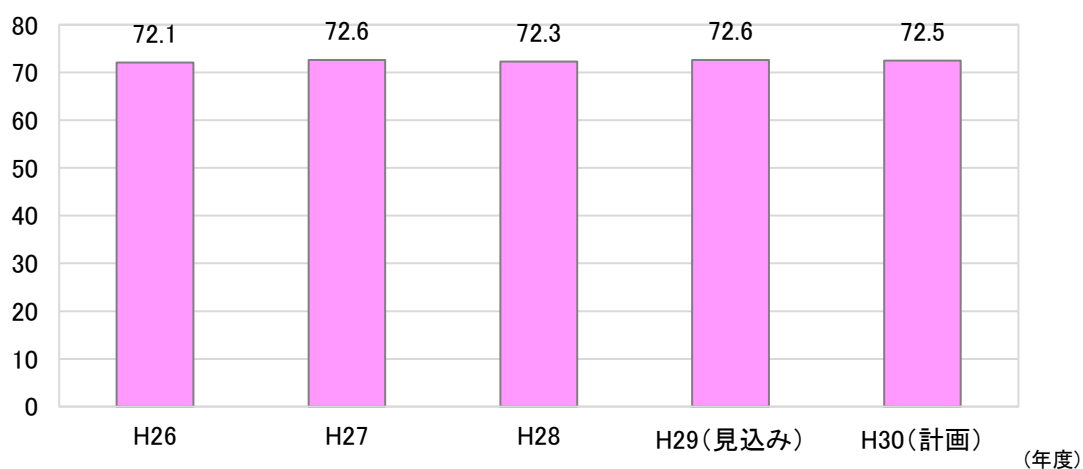
### 1. 輸血用血液供給計画

#### (1) 赤血球(単位換算)

平成29年度見込み	726,251 単位
平成30年度計画	724,900 単位

(対前年比99.8%)

(万単位)

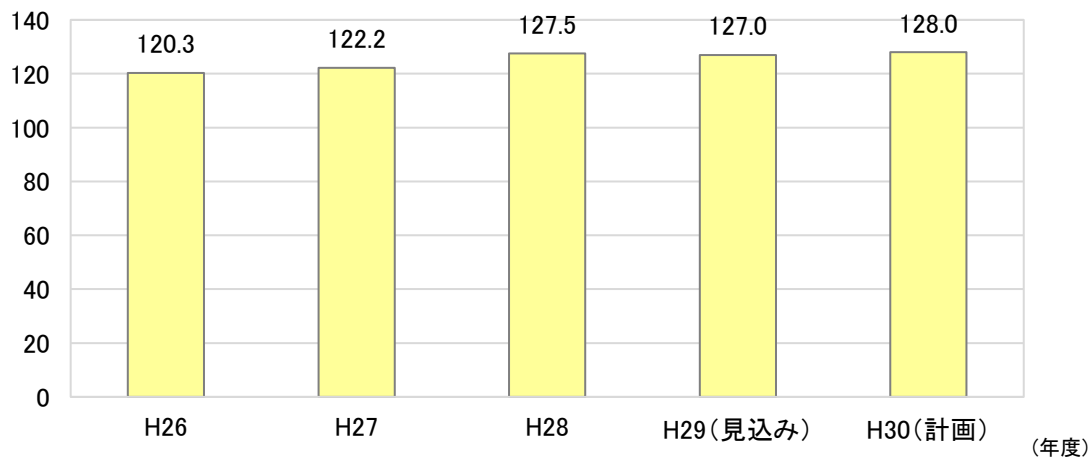


#### (2) 血小板(単位換算)

平成29年度見込み	1,270,393 単位
平成30年度計画	1,279,800 単位

(対前年比100.7%)

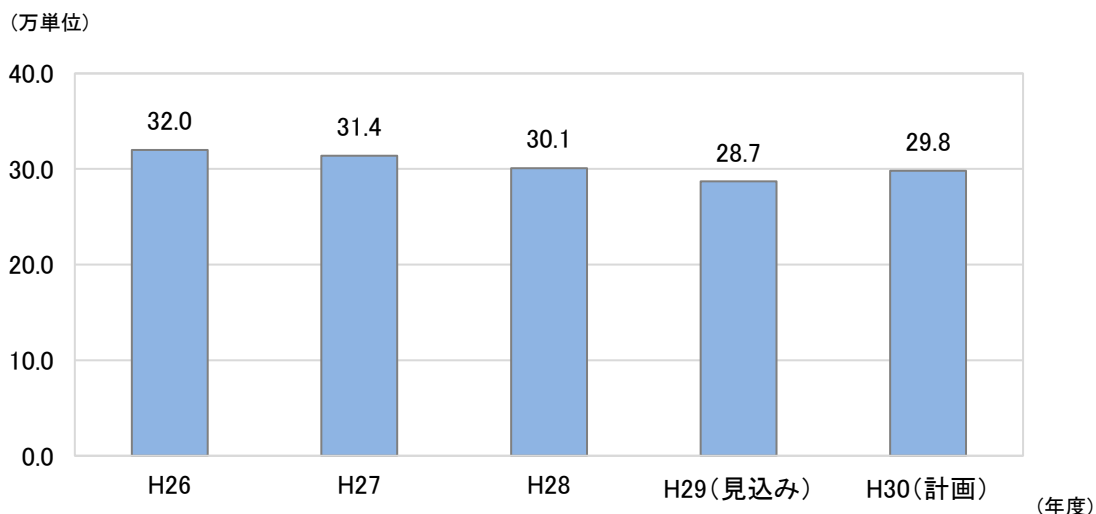
(万単位)



### (3) 新鮮凍結血漿(単位換算)

平成29年度見込み	287,365 単位
平成30年度計画	298,400 単位

(対前年比103.8%)

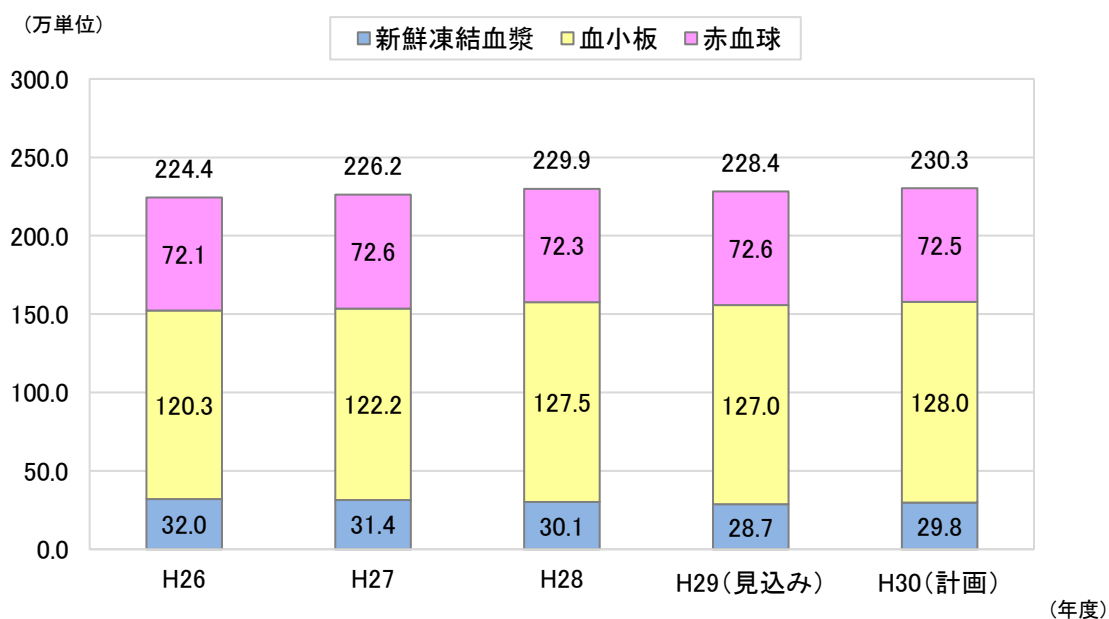


\*新鮮凍結血漿の単位数は、平成29年度よりFFP120が1.5単位から1単位へ、  
FFP240が3単位から2単位へ、FFP480が5単位から4単位に変更になりました。

### (4) 総供給数(単位換算)

平成29年度見込み	2,284,009 単位
平成30年度計画	2,303,100 単位

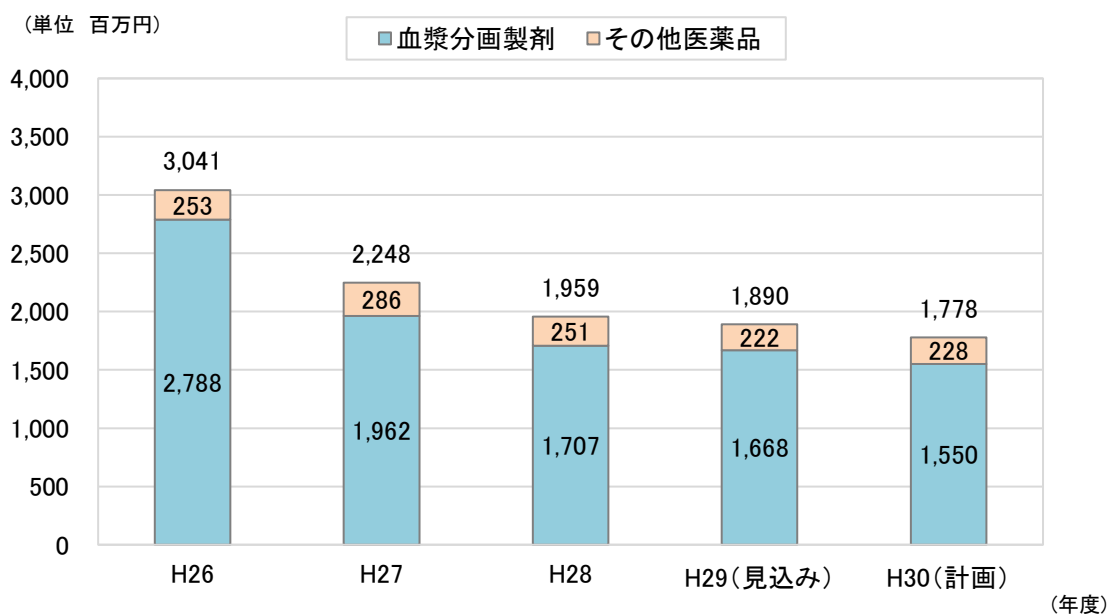
(対前年比100.8%)



## 【 血漿分画促進部・業務計画 】

### 1. 血漿分画製剤、その他医薬品の供給計画(総供給金額)

平成29年度見込み	1,889,859 千円
平成30年度計画	1,777,878 千円



### 2. 医薬用器具等の販売計画

平成29年度見込み	109,931 千円
平成30年度計画	107,687 千円

